

2019年度 法科大学院

第4期末修者

入学試験問題

(小論文方式)

試験時間 60分

注意事項

- (1)試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- (2)この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
- (3)試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- (4)解答は必ず解答用紙に記入してください。下書き用紙は回収しません。(解答用紙取り違えの申出には一切応じません)
- (5)参照は不可となっています。
- (6)解答用紙の取替え、追加配布はしません。
- (7)試験問題の内容等について質問することはできません。
- (8)問題冊子の余白等は適宜使用して構いません。
- (9)試験終了後、問題冊子、下書き用紙は持ち帰ってください。

[小論文]

別紙の文章を読んで、それに続く問に答えなさい。

(田中ゆかり「『そだねー』方言萌えの時代」読売新聞 2018年5月25日朝刊「論点」より)

問 1 下線部の具体的内容はどういう事実関係に基づくのか。あなたの理解するところを400字程度でまとめなさい。

問 2 下記の見解について、あなたの考えを600字程度でまとめなさい。

「現代社会において、より迅速かつ正確にコミュニケーションをするためには、方言は適当でなく、あらゆる場合に標準語を使用することを奨励すべきである。」

以上